

受けてください 命を守る

がん検診

問い合わせ 保健センター ☎367-1300

がん検診 最大のメリット

早期発見・早期治療が
できること

胃がん検診の受診方法

【胃内視鏡検査】

胃粘膜を直接観察できるため、凹凸のない平坦な病変や色調の変化を発見しやすく、早期がんの診断につながりやすいとされています。疑わしい部位が見つければ、検査中に組織を採取して生検(病変の疑われる組織の一部を採って顕微鏡などで観察すること)を行うことができます。

①受け付け

●申込フォームまたは保健センターへ電話し、問診票を取り寄せます。



②予約

●問診票が届いたら実施医療機関を予約します。

③検診

●医療機関の指示に従い絶食をして検査に臨みます。

●鼻または口に麻酔をして、カメラを入れて胃の内部を観察します。※鎮痛剤・鎮静剤は使用できません

●胃の組織を採取して検査をする場合(生検)は保険診療となり、別途個人負担が発生します。

早期の胃がんは自分では気づきません

早期の胃がんは、自覚症状がなく、見つけられるのは専門家だけです。日本では、50歳以降に胃がん罹患する人が多く、がんによる死亡原因の上位に位置します。胃がんは早期発見すれば95%以上治ります。早期発見するためには専門家による検診を定期的(胃内視鏡検査は2年に1回、胃部エックス線検査は1年に1回)に受けることが大切です。

実施医療機関はこちら▼



詳しくはこちら▼



【胃部エックス線検査】

胃全体の画像診断ができるため、胃全体の变形、病変の形や大きさ、位置を把握できます。ただし、胃粘膜の色調やわずかな凹凸は判別しにくい傾向にあります。

①予約

●実施医療機関を予約します。

②検診

- 医療機関の指示に従い絶食をして検査に臨みます。
- 発泡剤を飲んでから検査台に立ち、バリウムを飲みます。
- 技師の指示に合わせて、仰向けや横向きなど体を動かし、レントゲン撮影を行います。
- 検査終了後は、バリウムを便で排出するために、処方された下剤と水を多めに飲みます。

がん検診などの無料クーポンを送付します

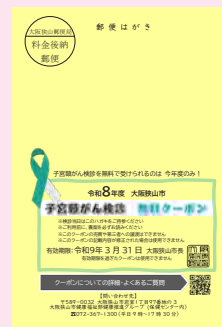
4月20日現在、市の住民基本台帳に記録がある下表の対象年齢の人へ、5月上旬に無料クーポンを送付しています。クーポンが届かない場合や4月20日以降に転入した人は、問い合わせてください。

検査項目	年齢
子宮頸がん検診	平成17年4月2日～平成18年4月1日生まれの女性
乳がん検診	昭和60年4月2日～昭和61年4月1日生まれの女性
大腸がん検診	昭和60年4月2日～昭和61年4月1日生まれの人
成人歯科健康診査	昭和60年4月2日～昭和61年4月1日生まれの人 昭和50年4月2日～昭和51年4月1日生まれの人 昭和41年4月2日～昭和42年4月1日生まれの人

※無料クーポン対象者で該当するがん検診または成人歯科健康診査を既に受診した人は、自己負担分を返還します



▲詳しくはこちら



▲子宮頸がん検診
無料クーポンの見本

